

第10回 本町通り商店街エリア ウォーカブル勉強会

次第

日時：令和7年1月23日（木）

19：00～20：30

場所：本町チャレンジBASE（Web 併用）

1. 前回の振り返り
2. 歩車共存の事例
3. 来年度の社会実験の方向性（案）
4. 今後の予定

ウォーカブル勉強会

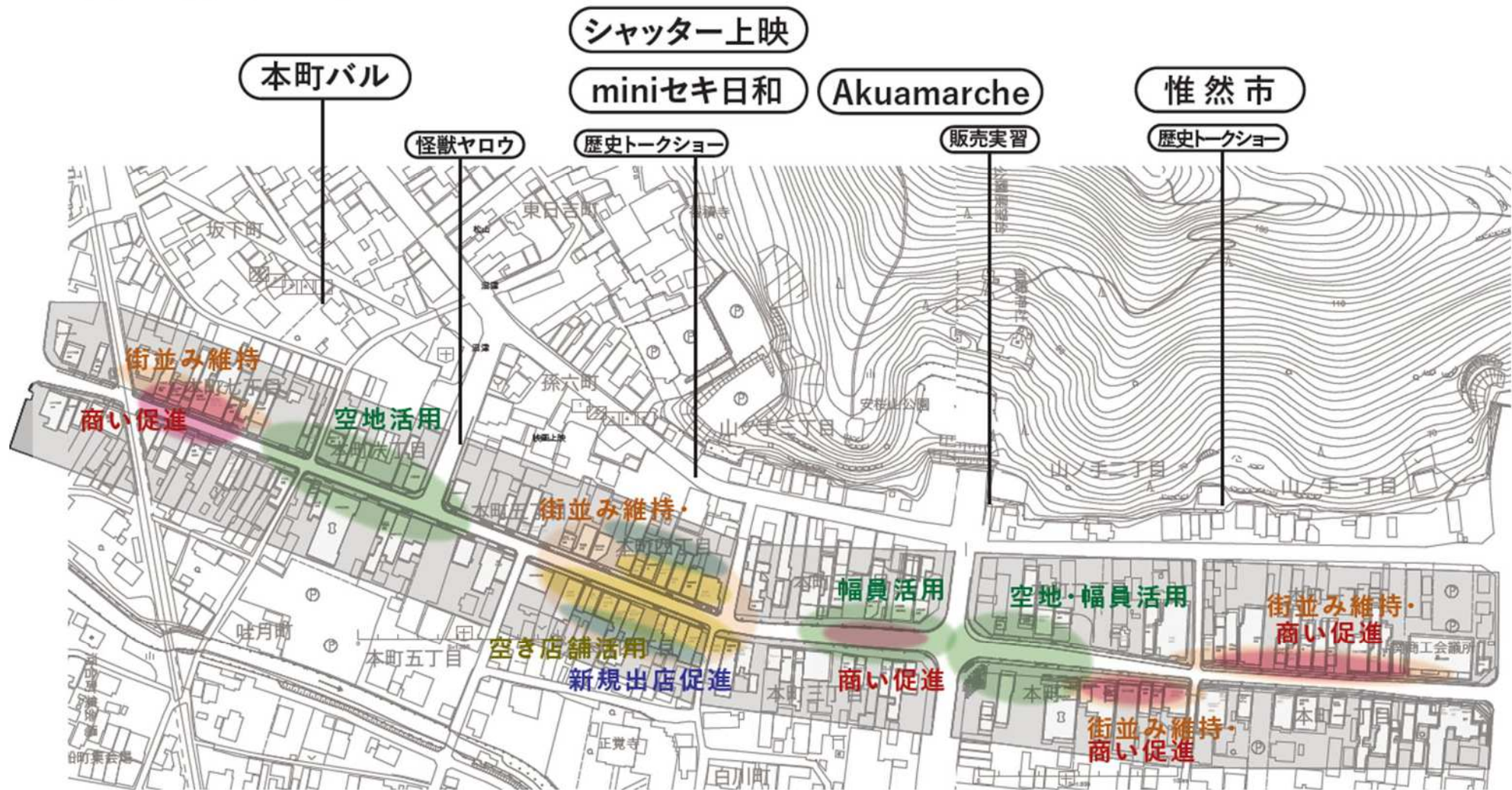
令和7年1月23日

1. 前回の振り返り
2. 歩車共存の事例
3. 来年度の社会実験の方向性（案）
4. 今後の予定

1. 前回の振り返り

前回の振り返り

ストリートチャレンジ



ゾーンごとの特徴から導いた
ゾーンの目指す方向性

前回の振り返り

ストリートチャレンジ

惟然市 Akuamarche 販売実習

- ・沿道商店の商い促進をめざしたもの
- ・まちの歴史にゆかりのあるもの
- ・空地や広い幅員を活かすもの

アンケートの自由意見・部会振り返り会

設置物	見映えや雰囲気の高評価 飲食店前にテーブルやベンチの需要 屋台販売があって嬉しかったです。 休憩できるスペースがたくさんあるとよい お店の前に自由に座れるスペースがあると良いと思いました。ヨーロッパみたいに、 飲食店前に街灯テーブルがあるといい ベンチがいっぱいあって、ゆっくりくつろげよかったです！夏祭り以来の盛り上がり、楽しかった。 見映えが良いと感じた 雰囲気がよかったです。本町通りが賑わっている。もう少し規模大きめでもいかなと思う。 いい雰囲気で楽しめた。
交通	Akuamarche来場者から「対岸を往来しにくい、ホコ天がいい」の声複数 Akuamarche来場者から「駐車場がわかりにくい」の声複数 駐車場が分かりにくく、一度会場を通過してしまった。 南北に出店場所が分かれているが横断歩道が少ないと思った。(対岸を行き来しにくい) 出来れば歩行者天国であればもっと良いと思いました。 せきてらずに駐車して歩いたが、距離的にもよかったです。駐車場が分かりにくい。 駐車場の場所が分かりにくかった。車で通りかかって気になって寄った。
その他	惟然市来場者から「継続してほしい、定期開催してほしい」の声複数 楽しい試みで継続してほしい まちが活気ついて楽しい 規模感よく、定期的に開催するとよい ただもう少しお店の数が多いとよい



前回の振り返り

ストリートチャレンジ

シャッター上映 怪獣ヤロウ!展示 miniセキ日和

- ・空き店舗を使うもの
- ・アーケード下の街並みを活かすもの
- ・外部の集客も狙ったもの

アンケートの自由意見・部会振り返り会

設置物

雰囲気・使われている景色の高評価 空き店舗活用と、設えの連動の需要

普段人通りが少なくさみしく感じるので、通りにベンチなどがあるところに人が座っている光景はとて面白いと思う。
街灯テーブルがいい。
いい感じの空間。面白い試み。
毎日歩いているが、ベンチがあると嬉しい。
沿道に店舗がないと、ベンチの利用は少ないと思う。ただ置いてあるだけでは使いづらい。
市民が普段から目にする部分がおしゃれになったり、盛り上がりつつある様子がわかると、自分も何かしたいな〜という気分になります！
空き店舗にお店が入るといい。

交通

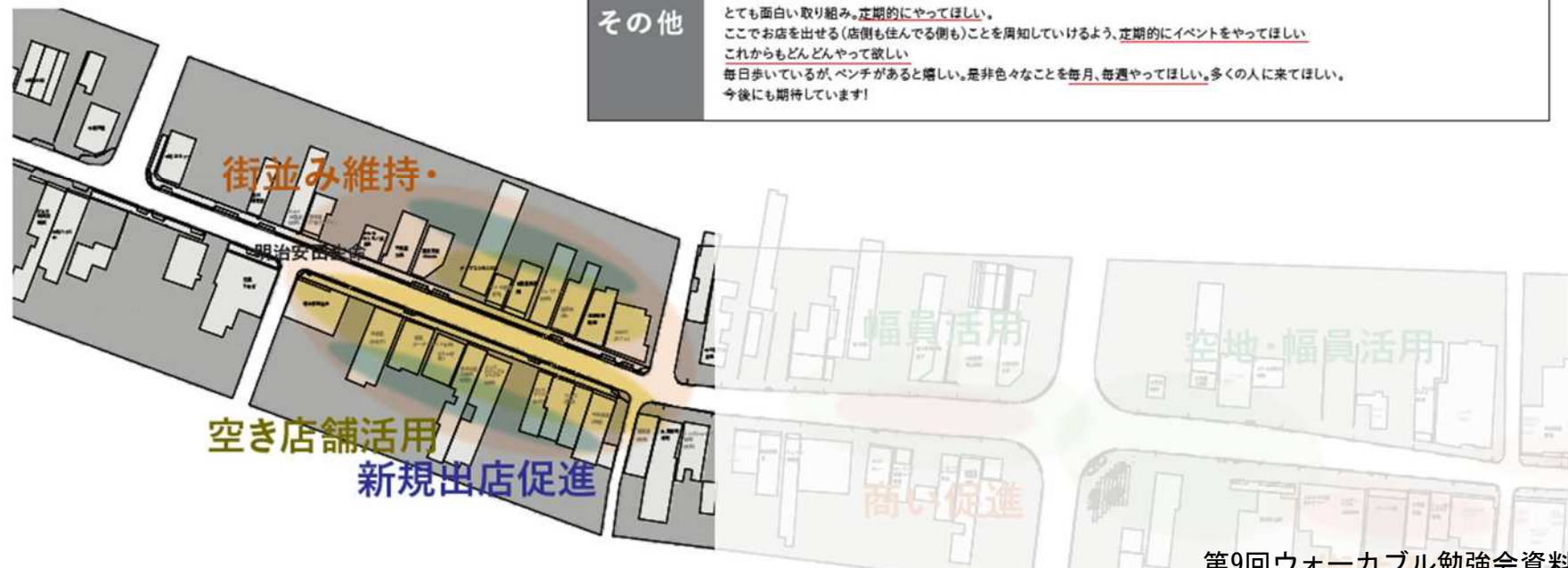
人通りがないと企画が活かない。 企画が盛り上がると、交通量の多さが危険になる。

シャッター投影は人が少なかった印象。
辻屋周辺など人出がある場所での投影が効果あるのではないか。
交通量が多く、子どもにとっては危険だと感じた。

その他

「定期開催してほしい」の声複数

とても面白い取り組み。定期的にやってほしい。
ここでお店を出せる（店側も住んでる側も）ことを周知していけるよう、定期的にイベントをやってほしい
これからもどんどんやって欲しい
毎日歩いているが、ベンチがあると嬉しい。是非色々なことを毎月、毎週やってほしい。多くの人に来てほしい。
今後にも期待しています！



前回の振り返り

ストリートチャレンジ

本町バル

- ・空地进行有効活用するもの
- ・沿道商店の商い促進をめざすもの

アンケートの自由意見・部会振り返り会

設置物

照明やベンチの雰囲気の高評価 既存店舗前の軒先活用、店舗前の滞在スペースの需要

お店の前に自由に座れるスペースがあると良いと思いました。ヨーロッパみたいに、見映えが良いと感じた
いつも来ている商店街、木の香りがするので何かなとベンチに気付きました。ベンチがあると気軽に座れて楽に過ごせました。
ストリングライトの効果はかなり良かった。
既存店舗の店前でやるのが原則。次回は範囲を広げてぜひ自分の店前でやりたい。

交通

歩行者で賑わう良さと、歩車道の使いにくさ、危なさの指摘

車道と歩道の段差をなくす。岡田医院の横の道みたいに。
横断歩道を渡らない人もいた。ある程度周知されるまでは安全対策として誘導員は必要。

その他

「定期開催してほしい」の声複数 開催時間や曜日の工夫が必要

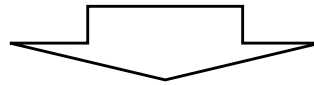
社会実験としても定期的に開催されると効果があると思います。
楽しい企画をありがとうございます。ぜひ、定期的に開催してほしいです。人が集うきっかけになると思います！
毎週金曜日夜など定期的に開催すると良い
どんどんやって下さい。
開催時間をお昼過ぎからとかもっと伸ばすのはどうか。
開催日は金曜日にこだわらず、土曜日開催(15時頃から)がいいと思う。
惟然市に合わせて実施してみるのもいいと思う。いろいろな曜日でやってみて探ってみるのもあり。



前回の振り返り

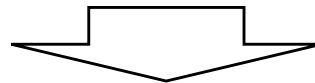
■前回の勉強会での主な意見

- 電源や水道等が容易に確保できる環境が望ましい
- インスタ等で情報発信されていたが、十分にイベント情報が伝わらず、どこで何をやっているかが分かりにくかった
- 日頃からどの程度本町通りに関する情報を得ようとしているかによって入手する情報量が異なるため、今後は受け手側も含めて情報発信、入手方法の意識変化が必要
- 滞在時間が増えたことで、車の速度がとても速く、危険と覚えることが多かった
- 今後、どのようなビジョンで何を大切にするか、分かりやすく発信する必要がある



■今後の対応事項（ソフト面・ハード面）

- イベントの定期開催
- 対岸の往来しやすさ、駐車場の明瞭化の工夫
- 自動車交通の危険を和らげる工夫
- 沿道活用に合わせた歩車道の使いにくさ、危険性の緩和

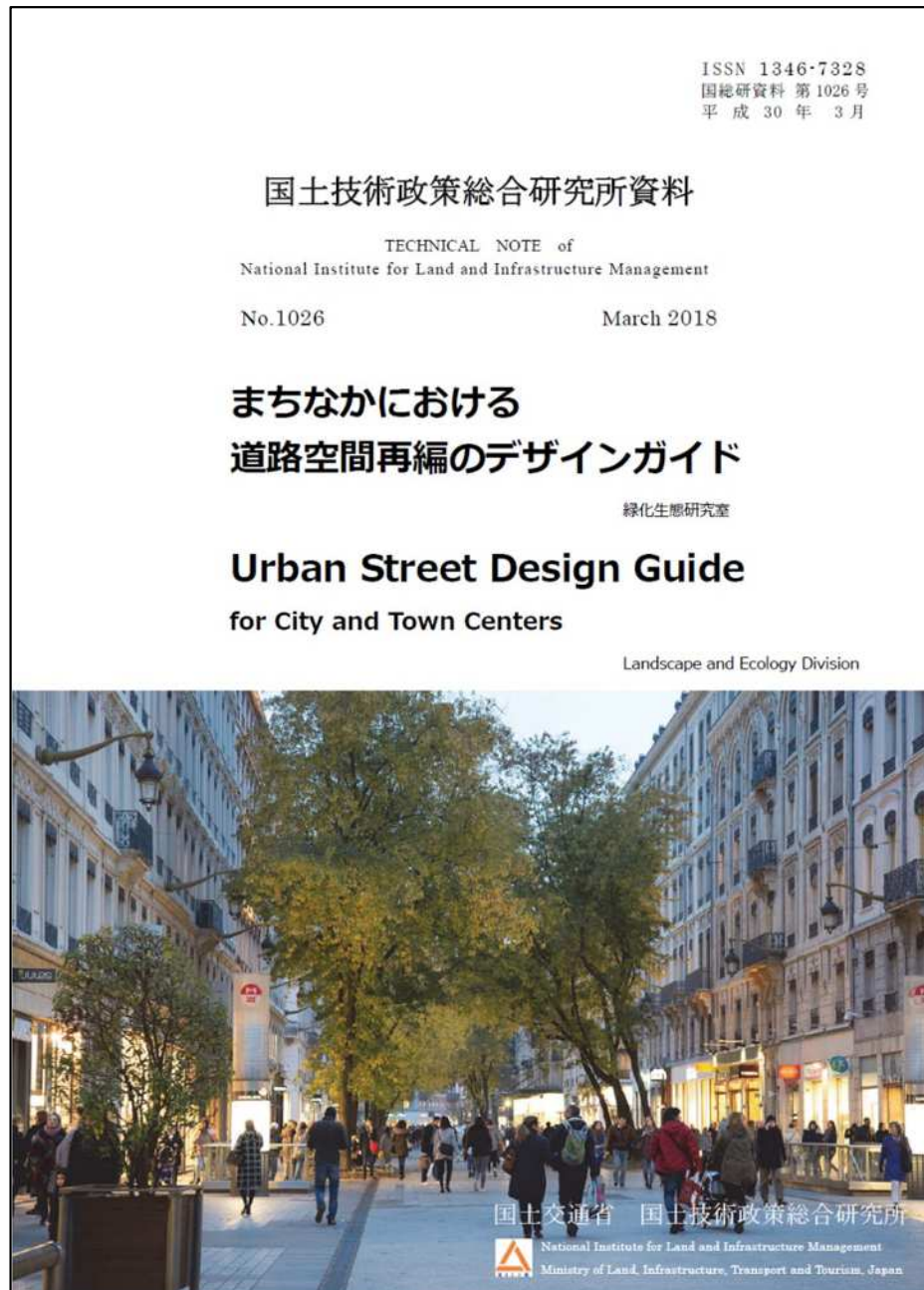


■次年度の社会実験における方向性

- 自動車交通への対応（交通量および速度の抑制等）

2. 歩車共存の事例

歩車共存の事例



まちなかにおける道路空間再編のデザインガイド

目次

I 道路空間の機能拡充・質的向上の基本的な考え方

1. デザインガイドの目的・方針	3
(1) 目的	3
(2) 対象	3
(3) 道路空間デザインの考え方	4
(4) 本デザインガイド活用の考え方	5
2. デザインガイドの構成	6
(1) 本デザインガイドの構成	6
(2) 関連資料	8
3. 道路空間の機能拡充・質的向上とデザイン	10
(1) 人間本位の道路空間デザイン	10
(2) 道路空間の利用者別の空間配分	14
(3) 道路空間の質を高めるためのスケール	18

II 道路空間再編のデザインパターン

1. 道路空間再編におけるデザインパターンの類型	24
(1) 歩行者優先空間	24
(2) 歩車共存空間	26
(3) 公共交通空間	26
(4) 自転車走行空間	28
(5) 沿道環境と協調した道路空間	28
2. デザインパターンの選定フロー	30

III デザインパターンに応じたデザインのポイント

デザインのポイントの読み方	34
1. 歩行者優先空間	39
デザインパターン 1-1 歩行者モール	40
デザインパターン 1-2 歩道拡幅	54
デザインパターン 1-3 まちなか広場	66
デザインパターン 1-4 パークレット	78
デザインパターン 1-5 オープンカフェ	92
2. 歩車共存空間	101
デザインパターン 2-1 シェアスペース	102
デザインパターン 2-2 クランク・スラローム・シケイン	124

項目	【目標】 歩行空間の改善・市街地中心部や観光地の活性化						
①道路整備	道路改築する					道路改築しない (既設道路の活用)	
②自動車対応	自動車の排除が可能		自動車の排除が不可能			－	
手法	歩行者モール	まちなか広場	歩道拡幅	シェアド スペース	クランク スラローム シケイン	パークレット	オープン カフェ
分類	歩行者優先	歩行者優先	歩行者優先	歩車共存	歩車共存	歩行者優先	歩行者優先
内容	車両通行を排除することで、自動車を気にすることなく、歩行者が安全に買い物、休憩、食事、まち歩き等、多様な活動を楽しむことができる空間	道路空間を活用し、広場の設えを施すことで、休憩、交流、食事、マーケット、各種イベント等、多様な活動に供するための空間	現況の道路幅員内において他の空間を削減し、歩道を拡幅することで、自動車交通は確保したまま歩行環境を改善し、歩行者が多様な活動を楽しむことができる空間	限られた道路幅員の中で、歩道と車道の分離構造を設けず、主に視覚的な操作によって、自動車速度を抑制することで、歩行者と自動車が共存できる環境を創出	屈曲や蛇行等の車道平面線形を物理的・視覚的に採用し、自動車速度を抑制することで、歩行者と自動車が共存できる環境を創出	車道に余裕がある道路において、停車帯あるいは外側1車線を活用し、仮設的な休憩施設を設けることで、休憩、交流、食事等滞留のための空間	道路空間を活用し、日差しや風を取り込んだ開放的な飲食、休憩施設を設置することで、休憩や食事のための場を提供するとともに、賑わいを演出する魅力的な空間を創出
イメージ							
事例	平和通買物公園 (北海道旭川市)	富山グランド プラザ (富山県富山市)	四条通 (京都府京都市)	神門通り (島根県出雲市)	松山ロープウェイ 通り (愛媛県松山市)	大宮パークレット (埼玉県 さいたま市)	久屋大通 (愛知県名古屋 市) 丸の内仲通り (東京都千代田区)

歩車共存の事例

	シェアスペース	クランク・スラローム・シケイン
整備前	整備前 W=12m 2.5 0.5 3.0 3.0 0.5 2.5 歩道 路肩 車道 車道 路肩 歩道	整備前 W=12m 2.5 0.5 3.0 3.0 0.5 2.5 歩道 路肩 車道 車道 路肩 歩道
整備後	整備後 W=12m 3.5 5.0 3.5 路肩 (歩行空間) 車道 路肩 (歩行空間) ① 道路の幾何構造の変更 ② 舗装材の高質化 ③ 道路附属物・道路占用物の整理 (整理・標識類の集約)	整備後 W=12m 2.5 5.0 4.5 歩道 車道 歩道 ① 道路の幾何構造の変更 ② 舗装材の高質化 ③ 道路の幾何構造の変更 ④ 道路緑化 ⑤ 無電柱化 ⑥ 歩道の確保

歩車共存の事例

	シェアドスペース	クランク・スラローム・シケイン
期待される効果	- 自動車の走行速度抑制による、対歩行者、自転車事故の減少等、<u>交通安全の促進</u> - 駐停車車両の排除による、駐停車車両の死角に起因する<u>交通事故リスクの低減</u> <u>歩行者通行量の増加</u>による商業関係者を取り巻く環境の改善 - 地域の魅力、快適性の向上に伴う来訪者増加による地域活性化及び地価上昇 <u>自動車利用者の専用意識の緩和</u>（道路空間は多様な利用者のための空間であることの理解促進）	- 自動車の走行速度抑制による、対歩行者、自転車事故の減少等、<u>交通安全の促進</u> - 駐停車車両の排除による、駐停車車両の死角に起因する<u>交通事故リスクの低減</u>
必要な措置・条件	<u>道路ネットワーク計画の策定と円滑な交通処理</u>が可能となる交通規制及び交通運用が採用可能であること - 沿道の土地利用は商業系であることが望ましい <u>道路空間の魅力向上のため、沿道施設の再整備、利活用、リノベーションを並行して実施</u>することが望ましい	<u>道路ネットワーク計画の策定と円滑な交通処理</u>が可能となる交通規制及び交通運用が採用可能であること - 沿道の土地利用が主として住居系であるような生活道路が望ましいが、通過交通がそれほど多くなければ商店街等の商業系エリアでの採用も可能

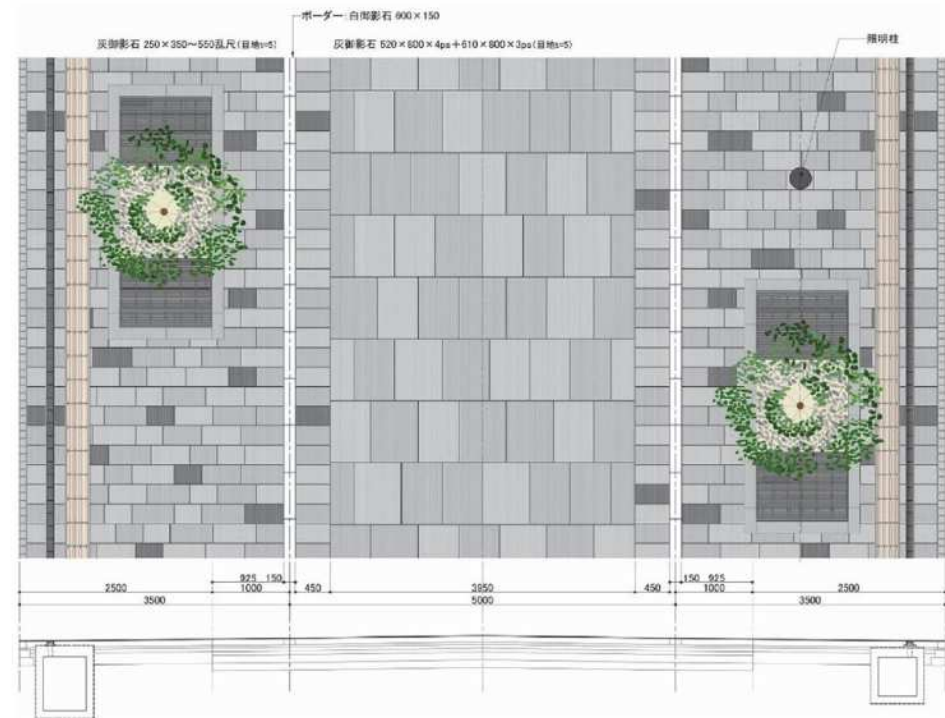
歩車共存の事例（神門通り）

＜事例＞シェアドスペース（神門通り 島根県出雲市）



○シェアドスペースを補完する工夫と効果

- 歩行空間の石畳舗装パターンを車道（外側線の内側50cm）ににじみだし
- ドライバーに実際よりも車道の幅を狭く感じさせ、歩車共存であることを意識しながらゆっくり通行することを促す
- 整備前後で平均速度が5km/h程度低下



出雲大社の表参道にふさわしい空間とするため、車道部は大判サイズの御影石を縦方向に敷き、路側部帯は小ピースの石材を横方向に敷設
(島根県出雲市 神門通り)
資料提供: 島根県

歩車共存の事例（神門通り）



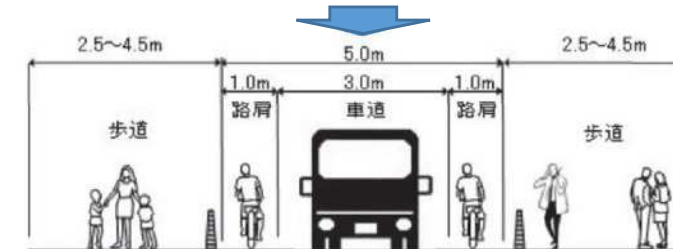
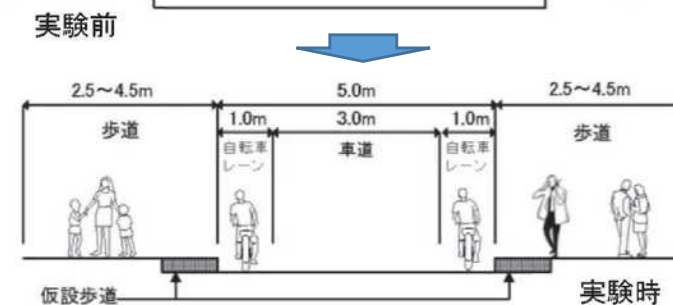
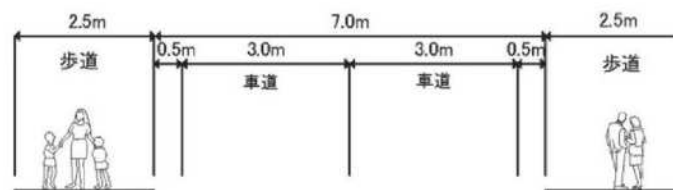
歩車共存の事例（ロープウェイ通り）

＜事例＞クランク・スラローム・シケイン
（ロープウェイ通り 愛媛県松山市）



○社会実験の取り組みと効果

- 不要な自動車交通の締め出し、走行速度を抑制する車道平面線形（スラローム）を導入
- カラーコーンを設置し線形を検証
- 歩行者交通量が最大41%増加
- 自動車速度が平日は平均3km/h低下、土日は平均7km/h低下



歩車共存の事例（ロープウェイ通り）



歩車共存の事例

参考

関市立地適正化計画(平成29年3月策定、令和6年3月改定)

【将来都市像】

にぎわい・つながりのある 歩いて楽しいまち

＜具体的な施策＞

- ①生活サービス施設充実と利便性向上
- ②子育てしやすい環境づくり
- ③まちがつながる、歩いて楽しい空間づくり



3. 来年度の社会実験の方向性(案)

来年度の社会実験の方向性（案）

	検証①	検証②
目的	来訪者の滞在時間を延ばす休憩施設等の設置	歩行者と自動車の共存空間創出
内容	仮設的なパークレットの設置により、来街者のアクティビティを促し、滞在時間の検証や行動分析を行う	- 物理的・視覚的な誘導により、自動車交通の速度抑制、交通量抑制を促し、歩行者が安全に通行できる環境を検証する - 検証結果を踏まえ、将来的なハード整備に向けた基礎資料とする
検証	- 滞在時間 - 行動調査 - 経済影響調査（店舗売上等） - 交通影響調査 など	- 交通影響調査 - 速度調査 - 歩行者量調査 など
イメージ	 金華橋ストリートパークライン2024（岐阜市）	 ほこみち社会実験@会津若松（出典：西村亮彦都市研究所）

※現時点の予定であり、詳細は関係機関等と協議の上、決定します。

4. 今後の予定

次回のご案内

第11回ウォーカブル勉強会

- 日時：令和7年2月20日（木）
19時～20時30分
- 場所：調整中

【内容】

- ウォーカブルビジョン素案について

※内容が変更になる場合があります。
※オンライン併用で開催します。
※市HPおよび案内文書でお知らせします。